



春陽会関西支部セレクション展 Kansai Shunyokai Selection

2016/6/2(木)～7(火)
11:00～19:00 最終日は16:00迄

初日の6月2日にはオーブニングパーティーが開かれ、様々な方と意見交換を行い、親睦を深める楽しいものになりました。来年はどんな作品に出会えるのか、これからも春陽会の皆さんのが際立つ展示となりました。

絵画は色のハーモニーが美しく、奥行きや柔らかさ、瑞々しさ、温度など有機的なものを感じます。それに對して版画はシャープな線の美しさ、描写力の高さ、モノクロベースによる強い世界観を感じる作品で、この2つを同じ空間に並べることでお互いの個性や魅力が際立つ展示となりました。

今回の展覧会は、毎年大坂市立美術館で開催される『春陽展 大阪展』の時期に合わせて開催されている、春陽会関西支部の方々によるグループ展です。毎年約20名が出品されますが、今回は会員の方によつて選抜された7名による出品となり、作家ひとりひとりの作品を、よりしっかりと鑑賞することが出来る内容となっています。

作品は、絵画が4名、版画が3名で構成されており、それぞれ2～5点出品されました。

金澤千鶴



『地の詩』
アクリル

高田三穂子



『古代を紡ぐ』
アクリル

ブレンドレ・ヨーグ



『ICHIGO' 16-7』
油 彩

松永和歌子



『夏木立』
油 彩

相坂暁



『the Canal (運河)』
エッチング・ドライポイント

川井一光



『空蝉 (A)』
メゾチント

山口剛史



『大地の鼓動』
水性木版